

令和5年度第1回我孫子市子ども・子育て会議 会議概要

1. 開催日時 令和5年6月17日（土）9：30～11：10

2. 開催場所 分館大会議室

3. 出席者

委員 箕輪会長、菅井委員、増田委員、菅原委員、鈴木委員、布施委員、大島委員、
小澤委員、野崎委員 以上9名

（欠席：太田委員、金澤委員 以上2名）

市職員 星部長、石山保育課長、鈴木子ども相談課長、三澤こども発達センター所長

事務局 阿部次長（兼子ども支援課長）、三宅主幹、渡邊係長、成瀬主任主事

4. 議題

（1）会長・副会長の選出

（2）子ども・子育て会議について

（3）令和4年度実績報告

（4）令和5年度注視事業の選定

（5）放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について

（6）我孫子市健康福祉総合計画推進委員会委員の推薦について

5. その他

会議の日程について

6. 配布資料

資料1 我孫子市子ども・子育て会議委員委嘱者名簿

資料2 傍聴要領

資料3 我孫子市子ども・子育て会議条例

資料4-1 子ども総合計画 重点事業 令和4年度実績報告 第4章関係

資料4-2 子ども・子育て支援事業 令和4年度実績報告 第5章関係

資料4-3 進行管理表入力要領

資料4-4 事業評価の基準

資料4-5 第4章 評価別事業名一覧（A3）

資料4-6 第5章 評価別事業名一覧（A4）

資料4-7 第四次子ども総合計画 進行管理

評価の訂正及び指標の算出方法の見直しについて

資料5 我孫子市放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について（依頼）

資料6 我孫子市健康福祉総合計画推進委員会委員の推薦について（依頼）

- 資料7 子ども・子育て会議スケジュール（案）
（令和11年度までのおおまかなスケジュール）
- 資料8 令和5年度子ども・子育て会議日程調整について（案）
- 資料9 会議開催方法のアンケート結果

7. 議事要旨

（会長選出までは子ども支援課長が議事進行を務める。）

【事務局（阿部子ども支援課長）】

資料の確認、委員の自己紹介、職員の紹介を行い、出席者9名により会議の成立を報告した。議事概要作成のため録音についての了承を得た。また、傍聴人なしを報告した。

【子ども部長 星】

— 星部長挨拶 —

【事務局（阿部子ども支援課長）】

— 議題①会長・副会長の選出 —

増田委員より、会長に箕輪委員の推薦があった。副会長については、事務局案として菅井委員を挙げ、会長に箕輪委員、副会長に菅井委員が選出された。

箕輪会長、菅井副会長より就任のあいさつがあり、以後の議事進行は箕輪会長が務める。

【事務局（三宅主幹）】

— 議題②子ども・子育て会議について、説明 —

質疑・回答なし

【事務局（渡邊係長）】

— 議題③令和4年度実績報告について、説明 —

質疑・回答なし

【事務局（成瀬主任主事）】

— 議題④令和4年度注視事業の選定について、説明 —

【箕輪会長】

どの事業を注視していきたいかということですが、本日ご欠席の太田委員からご意見をいただいておりますので、まず私から太田委員の代わりにお話をさせていただきます、その後皆さんからご発言いただけたらと思います。

太田委員は、第4章から『72. 教育支援センターの運営』を挙げております。理由としましては、「学校として、また、行政の責任として、枠に入れない子どもをどう具体的に支援できるかが一番大事だと思います。不登校の子どもたちがひだまりやかけはしに通えている実績値が令和4年度は24.3%だった。目標値を上回る手立てを注視していきたい。また、新木小・湖北小・並木小に設置された学校内の適応指導教室の動向も知りたい」とのご意見です。

もう一つが『83. いじめ対策事業』で、理由としましては、「いじめアンケートの扱いを含め、調査の結果からいじめ防止の具体的な手立てを注視したい」ということです。

第5章からは、『3. 放課後児童健全育成事業』を挙げていただいております。理由としましては、太田委員が引き続き、放課後対策事業運営委員の委嘱を受けて、「あびっ子クラブと学童についても注視したい。受け入れ人数の地域差やスタッフの高齢化等の問題点を知りたい」とのことです。もう一つが『14. 養育支援訪問事業』で、「養育に関しての指導助言の件数が少ないが、必要とされていないのか、保護者がその事業を知らないのか、現状を聞きたい」とのご意見です。

今のように、皆さんそれぞれ2事業程度を選んでいただきまして、その事業を注視したい理由を教えていただけたらと思います。

それでは、オンラインでご出席いただいている委員からお願いしたいと思いますので、増田委員からお願いします。

【増田委員】

『59. 小中学校コンピュータ教育の推進』です。コロナ禍で順調に進んでいたように思いますが、コロナの収束に伴い、活用されなくなってしまうことがないよう、見ていきたいと思いました。もう一つは、『72. 教育支援センターの運営』です。理由は太田委員と同じで、この事業にも興味があります。

第5章からは、『3. 放課後児童健全育成事業』で、これも太田委員と同じような理由で選びました。第5章からは一つで、この3事業を見ていきたいと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございました。では、鈴木委員、お願いします。

【鈴木委員】

私も増田委員と同じで、『59. 小中学校コンピュータ教育の推進』です。いい方向に進んでいるように思いますが、子どもたちやお母さんたちと話をしていて、学校毎の差を感じています。この学校間格差をどのように無くしていくことができるのかというところを注視していきたいと考えています。

もう一点は『68. 専門職員による調整・相談・訓練等』です。こちらは、評価的には目標値を達成しているように見えますが、保育園や幼稚園の保護者から聞こえてくる声から、早期発見・早期療育につなげていくことの課題を感じています。こども発達センターに週1回通いたいけれども希望どおりには通えない、こども発達センターに通うことができず、民間の児童発達支援事業所に通いたいけれども、そちらも入所待ちというような方もいらっしゃる状況です。量見込みに入っていない、埋もれてしまっている人がもっとたくさんいるのではないかと、もっとしっかり見ていきたいと考えています。

第5章では、太田委員と同じ意見で、『3. 放課後児童健全育成事業』です。コロナが明けて、今年からまた量の見込みが増えてくるのではないかとということで、より質の高い学童保育室の運営が求められるのではないかと思います、注視していきたいと考えています。

ここで一点質問させていただいてもよろしいでしょうか。

今年4月からこども家庭庁がスタートし、異次元の少子化対策について日常的にニュースでよく目にしていますが、「こども誰でも通園制度」がまもなくスタートするという話があると思います。子ども総合計画や我孫子市として、現状どのように考えておられるのか教えていただけたらと思っています。

【石山保育課長】

まだ具体的には決めていませんが、我孫子市としては、空いている園があまりない現状ですので、保育士が確保できれば、一時預かりを充実させていくことになると思います。また、地区によってはこれから子どもが減り、定員割れになる園があれば利用できるかもしれません。どういう制度になるのか注視して進めていきたいと思っています。

【鈴木委員】

ありがとうございます。

この「こども誰でも通園制度」は、親御さんが働いていなくても、介護等をしていなくても、誰でも預けられるという制度だと思いますが、そういう方のニーズ調査をする予定はありますか。

【石山保育課長】

今のところ予定はありませんが、今後検討していくことになる課題だと思います。

【箕輪会長】

ありがとうございました。

では、野崎委員から順番に時計回りでお願いします。

【野崎委員】

第4章からは、『7 1. 長期欠席児童・生徒対策事業』と『7 2. 教育支援センターの運営』を注視したいと思っています。私は不登校の子を持つ親の会の代表をしています。ひだまりやかかけはし等の教育支援センターに通っている子どもたちや親御さんたちとつながることが多いので、現状を知りたい、子どもたちが通いやすいのはどんな環境なのか、どんなことが必要なのか等を一緒に考えていきたいと思っています。

第5章からは、『3. 放課後児童健全育成事業』です。関連することかと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございました。大島委員、お願いします。

【大島委員】

第4章からは、私も『7 1. 長期欠席児童・生徒対策事業』について、現状とどんなことをやっているのか等、わからない部分もあり、注視したいと思いました。

もう一つは、『8 3. いじめ対策事業』です。本当にいじめに悩んでいる子どもたちは我孫子市にも、全国にもいると思いますが、どこまで把握されていて、どんな対策ができるのかということを是非注視したいと思いました。

第5章からは、私も『3. 放課後児童健全育成事業』を注視したいと思いました。

もう一つは、『15. 要保護児童対策地域協議会』です。要保護児童対策地域協議会を初めて目にしまして、どういう事業なのかということと、我孫子市には要保護児童がどのくらいいるのかと思い、注視したいと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございました。小澤委員、お願いします。

【小澤委員】

第4章からは、『56. 療育・教育システムの構築』です。こども発達センターと教育相談センターの連携が必要だと思っています。こども発達センターにお世話になっていまして、我孫子市のこども発達センターは本当にしっかり見てくださり、安心感があって、困ったことがあれば何でも相談しながら子育てができていました。それが小学校に入学した途端、放り出されてしまうというか、どこに相談したらいいのかわからないという状況になってしまいました。放課後等デイサービス等、使える支援はもう使わせていただいています。困ったときや悩みを相談したいときに『73. 教育・発達相談事業』という事業があって、教育相談センターに相談できるとは思いますが、こども発達センターから継続して相談できるという体制にはなっていないと感じています。その切れ目のない支援が実現できたらと思い、注視したいと思いました。

もう一つは、『89. アビコなんでも学び隊』です。アンケートの満足度を見てもほぼ100%で、質の高い事業だと思います。私の子どもは2回応募して、2回とも抽選にはずれてしまい、まだ1回も体験できていません。質的には高い事業だと思いますので、参加したい人がもっと参加できるように量的な部分を見直せたらと思い、注視していきたいです。

第5章からは、『8. 一時預かり事業』です。私は週に2回フルタイムのようなかたちで働いていたことがあり、週に2回なので、毎週一時預かりを利用していました。先程お話があった「こども誰でも通園制度」のように、保護者がリフレッシュしたいとき等に定期的に利用できるような一時預かり等、もっといろいろなニーズを見ていけたらと思い、注視したいと思います。

もう一つは、『17. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業』です。事業内容に健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受け入れる私立認定こども園に対して、職員の加配に必要な費用の一部を補助する事業とあって、本当にそういった支援が必要な子はたくさんいると思いますので、こちらも注視していきたいです。

【箕輪会長】

ありがとうございました。菅原委員、お願いします。

【菅原委員】

私が注視したいと思ったのは、『71. 長期欠席児童・生徒対策事業』並びに『72. 教育支援センターの運営』『73. 教育・発達相談事業』です。きっかけは子どもの中学校の卒業式で、名前を呼ばれていない子がいたり、保健室から出てこられない子がいたり、保健室ではない別の教室で勉強したり、いろいろなお子さんがいることを知って、それに対する対策の事業ということで、注視したいと思いました。

もう一つは、『108. バリアフリー情報提供事業』です。我孫子市の子どもと保護者にとって適切で、非常に大事な情報が得られる場であればいいと思い選びました。

第5章では、『14. 養育支援訪問事業』と『17. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業』の二つです。養育支援訪問事業は、支援が必要な子どもに支援をする事業ということで、注視したいと思いました。多様な事業者の参入促進・能力活用事業については、これからの子育てに必要な情報が得られると思い、注視したいと思います。

【箕輪会長】

ありがとうございました。布施委員、お願いします。

【布施委員】

第4章では、『54. 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携』と『73. 教育・発達相談事業』の二つの事業を注視していきたいと思いました。

保育園や幼稚園の子どもたちは小学校に入学するとき、小学校ってどんなところだろう、どんな子がいるのかな、どんな勉強するのか等、たぶんいろいろなことを不安に思いながら、学校に行くと思います。コロナ禍で同じ学年同士の交流もなくなってしまいました。不安ではなく、憧れを持って小学校に入学できるよう、お兄さん、お姉さんが勉強しているところ等を見せてあげることは大切だと思います。保育園、幼稚園、小学校が一体となった交流があってもいいのではないかと思います。注視したいと思いました。

教育・発達相談事業については、園での出来事をお話させていただきます。コロナ禍で生まれたお子さんが入所してきまして、保護者から食事の進め方がわからないと相談を受けました。子育て経験のある方ならわかると思いますが、離乳食から始まって三回食になって普通食に移行していくということもわからない。そのような現状に

なってしまっていますので、コロナの収束を機に元に戻し、保護者との交流、相談できるコミュニティが必要だと思い、注視していきたいと思いました。

第5章については、1点だけで、『6. 地域子育て支援拠点事業』です。保育園では園庭開放やマイ保育園広場を子育て支援事業として行っていますが、なかなか人が集まらない現状です。たくさんの方に来ていただいて、子育てに関するアドバイスもできるかもしれませんし、そういうこともできたらと思い、注視したいと思いました。

保育園ではたくさんのお子さんを預かっていて、一人一人の命は本当に大切です。最近バスの事故や不適切保育のニュース等がよく取り上げられています。国でも保育士定数の見直しが検討されていると思いますが、我孫子市でも検討していただければと思います。園でも、安全に、一人一人に合わせた保育を行っていききたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

【箕輪会長】

ありがとうございました。菅井委員、お願いします。

【菅井副会長】

第4章からは、『5.4. 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携』を挙げさせていただきます。コロナ禍で書面での実施ということも資料にありますし、次年度への課題にも、自然で無理のない交流活動を継続していくために狙いを明確にしていけることが上がっています。幼保、こども園、小学校の連携も、年度によって計画していくことが非常に大切だと思います。

もう一つが『9.0. 子どもの読書活動推進』です。コロナ禍で、中止や縮小もあったようですが、読書活動推進はすごく長いライフステージで、妊娠期から中学校卒業以降までということから非常に重要だと感じています。次年度への課題に、子どもの読書活動推進計画を策定すると書かれていました。我孫子市では、図書館がただ本を読む場所ではなく、地域に密着したさまざまな取組を展開していたり、コロナ禍で図書館の役割が見直されたり、地域で子どもと保護者を支える場所となっていたりということもあり、注視させていただき、我孫子市ならではの取組を展開できたらと思いました。もう一つも関連で、『8.6. 環境学習の推進』です。コロナ禍からの変換期に、我孫子市ならではの環境を生かした地域の特色ある学習を子どもたちが経験できるということは重要だと思いました。

第5章では、既に挙がっていますが、『3. 放課後児童健全育成事業』です。受け入れを断ったり、高齢等によるスタッフ不足が書かれていました。保育園・幼稚園からつながっていくということが非常に重要で、注視していく必要があると思いました。

もう一点は、『8. 一時預かり事業（在園児以外対象）』です。多様化する社会の中で、園に通っていない地域の方々をどうサポートしていくのかという観点が必要だと思います。『7. 一時預かり事業（在園児対象）』も類似していて、近いと思っていました。

【箕輪会長】

ありがとうございました。

では、最後に、私からはまず『56. 療育・教育システムの構築』です。先程お話がありましたように、幼保に通っているときの支援と小学校に上がったからの支援の間に切れ目があり、この会議の中でもずっと議論しています。ライフダイアリーを普及して、つなげていくということも言われてきましたが、なかなかうまくいっていない状況です。幼保と小という療育・教育システムの切れ目について、まだ課題があると思います、注視していきたいと思いました。

2点目については、『71. 長期欠席児童・生徒対策事業』『72. 教育支援センターの運営』が類似なので、一緒に見ていけないだろうか、一つのまとまりにできないだろうかと考えているところです。今長期欠席になっているお子さんが多く、自分で行かないということなのか、行けないのか、不登校になっている原因や一歩踏み出そうとしている姿もさまざまだと思います。他の自治体の会議に出席し、コロナ禍でその状況も多様化していると感じていますので、我孫子市の状況も見ていけたらと考えています。

第5章からは、既に挙がっていますが、『3. 放課後児童健全育成事業』です。以前からもその時間帯に働いてくださる方が少ないという話があり、これからさらに人材確保が難しくなっていきますので、我孫子市としてどう考えていくのかというところを見ていきたいと思っています。

もう一つは、少し迷いましたが、『13. 乳児家庭全戸訪問事業』を見ていきたいと思っています。今でも実績は低い訳ではなく、指標評価も90%を超えていますが、乳児の家庭に訪問するということは、これからのリスクや悩んでいる家庭を見つけるという一番大切だと思います。また、他の自治体では、逆に訪問した先のことばで傷ついたという話も聞いていますので、今後どう考えられていくのかも含めて注視したいと思い、選びました。

それでは、ご意見をいただきましたので、事業を決定していきたいと思います。ここで、さまざまな方の意見を聞いて、この事業も見たいというような追加のご意見がありましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。特にないでしょうか。

ありがとうございます。では、第4章ですが、多いものが『71. 長期欠席児童・生徒対策事業』と『72. 教育支援センターの運営』です。その次に、『83. いじめ対策事業』、『59. 小中学校コンピュータ教育の推進』、『56. 療育・教育システムの構築』、『73. 教育・発達相談事業』、『54. 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携』です。

ここで、事務局に質問ですが、71と72を一緒に見ていくことはできますか。可能であれば73まで一緒に。

【事務局】

はい、可能です。

【箕輪会長】

71・72・73を一つとさせていただいたら、83、59、56、73、54から一つ選ぶことになります。これらの事業を選んでいच्छらなかつた方で、ここを見ていきたいというようなご意見がありますか。いかがでしょうか。

71・72・73について質問をする際に、83の質問をすることも可能ですか。関わってくるとお思いますので。56も73に絡められますか。

【事務局】

はい、可能です。

【箕輪会長】

では、あとカテゴリーが違う59か54のどちらかにしたいと思います。

増田委員、お願いします。

【増田委員】

箕輪会長から71、72、73を一つとして、もう一つ事業をというお話でしたが、私たちが見ていくのはすべて重要な事業であって、三つにプラスしてまた一つということにすると、一つ一つの事業の注視が薄まってしまうように思います。先程事務局から、

質問は関連事業からでも構わないということでしたので、抽出は71、72、73の三つの事業でいいのではないのでしょうか。

【箕輪会長】

では、59と54を選んでいただいた委員の方で、どうしても注視していきたいというご意見等があればお願いいたします。

【増田委員】

私も59を挙げましたので、見てみたいという気持ちもありますし、いろいろ見たいという気持ちもありますが、いくつか重点を絞って注視していきたいと思います。

【箕輪会長】

では、他の事業も大事ですが、今年度は第4章から71、72、73の3事業を見ていくことにしたいと思います。

次に、第5章については、『3. 放課後児童健全育成事業』を多くの方が挙げていますので、こちらに決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

次が、『14. 養育支援訪問事業』『7. 8. 一時預かり事業』『17. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業』です。ご意見はいかがでしょうか。

【石山保育課長】

『17. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業』ですが、現在我孫子市では対象がない状況です。昨年一つ加わったのが柏市にあるイメージ的には認可外の幼稚園で、そこに通園されている我孫子市在住の方には支援しましたが、それ以外に我孫子市として事業が成立しているものはありません。

【箕輪会長】

17を見ていくのは難しいですね。では、14か7・8ということになります。布施委員、お願いします。

【布施委員】

私は『6. 地域子育て支援拠点事業』を挙げましたが、いろいろな相談や支援を見ていきたいと思ひまして、可能であれば、『14. 養育支援訪問事業』を注視していきたいと思ひます。

【箕輪会長】

今、布施委員から『14. 養育支援訪問事業』を見ていきたいというご意見がありましたので、3票になりました。『14. 養育支援訪問事業』を見ていくということでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、第4章からは、『71. 長期欠席児童・生徒対策事業』『72. 教育支援センターの運営』『73. 教育・発達相談事業』、第5章からは、『3. 放課後児童健全育成事業』『14. 養育支援訪問事業』を注視していくことになりました。

後日事務局から注視事業について意見を求められますので、回答をお願いいたします。

では、続きまして、⑤放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（渡邊係長）】

— 議題⑤放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について、説明 —

【箕輪会長】

どなたか立候補される方はいらっしゃいますか。

もしいらっしゃらなければ、引き続き、太田委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。ありがとうございます。

では、子ども・子育て会議といたしましては、太田委員を推薦いたします。

続きまして、⑥我孫子市健康福祉総合計画推進委員会委員の推薦について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（渡邊係長）】

— 議題⑥我孫子市健康福祉総合計画推進委員会委員の推薦について、説明 —

【箕輪会長】

どなたか立候補される方はいらっしゃいますか。

もしいらっしゃらなければ、布施委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。ありがとうございます。

それでは、子ども・子育て会議といたしましては、布施委員を推薦いたします。

布施委員、よろしくお願いいたします。

次に、次第の5. その他の事項として、次回の日程について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（成瀬）】

— 資料に基づき、説明 —

【箕輪会長】

今年度の会議はあと3回ですね。第2回が9月ということで、開催方法は対面とオンラインのハイブリッド形式で開催していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日予定していた議題はすべて終了しました。

皆さまご協力ありがとうございました。また次回もよろしくお願いいたします。

これで、令和5年度第1回我孫子市子ども・子育て会議を閉会といたします。長時間にわたりおつかれさまでした。

～ 終了 ～